

なごやぬいぐるみ病院救急との合同実施
「親子で学ぼう☆もしものときの手当のしかた」報告書

文責：畑下直

連絡先：nhatt222@gmail.com

●実施概要

- ・実施日：2012年12月9日
- ・活動場所：名古屋市公会堂
- ・当日参加した学生の人数：救急と合わせて30人ほど
- ・子どもの人数：小学1～4年生7名と中学生1名、その保護者
- ・活動時間：13:00～16:30
- ・活動内容：町のお医者さん（子どもが医師役・保護者が看護師）、その他（救急のサークルがBLS講習）
- ・保健教育テーマ：「応急手当」
- ・当日の流れ（園児の動き、学生の動きが分かるように）

時間	行ったこと
10:00	集合
10:00～	最終打ち合わせ、移動
12:00	
13:30～	ぬいぐるみ病院（前半）
16:00	救犬 MeiLS（後半）
16:00～	片付け、手集
16:30	
17:00～	反省会

●準備について

- ・今回の準備に向けて初めてMTGを行った日：8月下旬
- ・準備に来た学生の人数：1日平均10人

- ・当日までの準備の日程・内容

日程	話し合ったこと、準備したもの
----	----------------

8月中旬	救急サークルと合同で実施できれば面白いのでは？という話がでて、救急サークルの救犬 MeiLS に話をもちかける。
8月下旬	ぬいぐるみと救犬 MeiLS のコアで相談⇒実施を行うことに決定。
10月上旬	名古屋市公会堂を予約
11月	準備を進める（企画したい人を募り、できるだけ大学と学年を混ぜたチームに分けて、メールや skype、LINE を使って話し合いを進めていった。）
12月	宣伝活動
12月9日	本番

●診察（おいしゃさんごっこ）について

前回からの改善点・工夫した点

- ・保護者の方が来て下さったので、看護師役は保護者の方にやって頂いた。

保護者の方がいることで、こども達の緊張がほぐれやすく、学童などの実施よりもスムーズに進んだ。

- ・一番工夫したのは、「保健教育でやった内容を復習できる問診にしたこと」。

患者（学生）の症状は、「捻挫」「骨折」「火傷」「出血」など、保健教育「応急手当」で扱ったものにし、患者が医師（こども）に「応急手当として何をすればよかったですか？」や、「家にあるもので止血できますか？」など問診の中で質問をすることにした。保健教育でインプット、問診でアウトプットするという流れを作れたことがとてもよかった。

今回の実施を受けての反省点と、それに対する改善策

- ・保健教育と問診の積極的な関連付けはこれからも取り入れていきたい。
- ・保護者の方から、カルテをこどもに書かせてあげたかったという声があった。
- ・中学生の子には簡単すぎた。大きい子がきても対応できるように、問診の八手mmバージョンも用意しておくべきだった。



問診風景↑

●保健教育について

- ・テーマ：応急手当
- ・テーマを選んだ理由

学童や保育園で保護者の方や職員の方から毎回アンケートに「やってほしい」と書いてあるテーマだったため。

- ・形式：劇&PPT
- ・内容：

3部構成で行った。

①皮膚系

あかぎれ、火傷、低温やけど、など皮膚に関することをPPTで発表した。

完成度が高く、3部の中で「わかりやすかった」という意見が一番多く寄せられた。

②捻挫系

捻挫、つきゆびの応急手当を劇で伝えた。ストーリーは、スギちゃんという男の子が捻挫と突き指をしてしまい、それを同級生のろーらが助けるというもの。メインはRICE法。

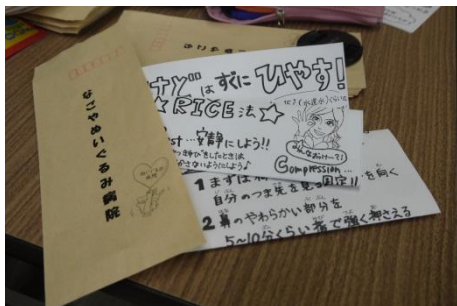
③止血系

鼻血、怪我の際の止血の仕方を劇で伝えた。ストーリーは2部に引き続きスギちゃんが怪我をして、博士とその助手が助けてくれるというもの。

最後に、以上3つの内容をまとめた「お土産」を渡した。

使ったもの（作成したものも含む）

*できれば写真も貼り付けてください。



おみやげ



↑皮膚班の PPT を使った発表



↑捻挫班の発表で三角巾法の実践中。実際に学生の足をこども達が固定してみる。



↑第三部の止血班の発表。血管を書いたレインコートを使ったり、止血のデモを行った。

・説明の際、注意した言葉や表現
 できるだけ図や、画用紙を用いて、難しい用語は目で見てもわかるように心がけた。

・園児の反応：

理解：~~理解してくれた~~ 理解できないようだった わからない

楽しさ：~~楽しんでいた~~ つまらなそうだった わからない

行動変容：保健教育を受けて、行動が変わった 変わらなかった ~~わからない~~

実施後に保護者と子どもに対してアンケートを実施。

全員が「楽しかった」と回答して下さった。

アンケート結果をまとめた PPT もあるので興味がある方はご連絡ください。

良かった点

- ・ 1つの班が10分ほどの発表にして三者三様だったので、子ども達の集中力が比較的持った。
- ・ イオン実施と時期が重なっていたが、イオンは「大学ごと」で準備を進めたため、こちらは「できるだけ各班大学を混ぜ、学年も混ぜる」ということを心がけた。初の企画側参加のメンバーも数人いて、どの企画メンバーにも仕事がある状態になっていた。質の高い保健教育になったと思う。
- ・ 子ども達が一生懸命メモを取っている姿には感動しました…。

反省点

- ・ 練習時間が短くなってしまった。(実施間の時間不足)
- ・ 劇で照れを捨てきれていなかった。
- ・ 同じテーマの保健教育をやる大学へのアドバイス

PPT の発表は、なかなか保健教育では聞いたことがなかったのですが、皮膚班の子たちの工夫もあり、大好評でした！PPT も発表形式の一つとして考えてよいのではないかと思います。

応急手当は実践できるところはやってみることが大事だと思います。保護者の方からも、実際にやってみることができたのが良かったとお声をいただきました。当たり前ですが、実演のためには、学生がまずしっかり応急手当できるようになっておく必要があります。応急手当はやりかたを忘れてしまうことも多いので、まとめプリントのようなものを作るとよいと思います。

●ぬいぐるみ病院では無い活動

・活動の名称：救急サークル「救犬 MeiLS」による BLS 講習会

・内容：

医療系サークルの「救犬 MeiLS」が、子ども達と保護者に対して BLS 講習を行った。
BLS の流れを小分けにしながら、解説⇒デモ⇒実際に体験 という、サイクルを繰り返し行い、定着を図った。子ども達だけでなく、保護者の方にも収穫が多かった内容であった。



↑準備風景。AED も使用した。

●その他（任意）

「なんでこんな企画が生まれたのだろうか？」と思われる方もいらっしゃると思うので、最後にこの企画が生まれるまでと、一番大変だったことと、感想を書こうと思います。

～この企画の誕生まで～

この企画が生まれたのには2つのなごやぬいぐるみの「やってみたい！」の気持ちがありました。

一つ目は、前述のとおり「応急手当」「BLS」「AED」は、なごやぬいぐるみが実施でアンケートを取るたびに需要のあるテーマだったから、このテーマで一度実施をやりたいという思いです。

二つ目は、「保護者と子どもに行う実施」をやってみたいという思いです。ぬいぐるみの保健教育は、行動変容を目的とするものでもあります。ただ、その「行動変容」は、子ども達だけで目指すというよりも、保護者が一緒になって子ども達と行動を変えていく方が多くの場合は確実です。だったら保護者の方にも保健教育を聞いて頂く機会があってもいいのではないかと思ったのです。

この2つのアイディア・思いから「親子で学ぼう☆もしものときの手当のしかた」という企画がスタートしました。

そして、「BLS」を扱うなら、BLS に詳しい団体が身近にいるのだから、その団体の力を

貸してもらえないだろうか。という考えが生まれ、医療系サークルの救犬 MeiLS に実施に協力してくれませんかと依頼をし、引き受けて頂けることになりました。

場所を、学童や保育園にしなかったのは、「より多くのこどもに・人に」という今年の幹部の方針でもあります。公共の場で行うことで、ぬいぐるみ病院を知らない・体験したことがない人に広まって、健康の和が少しでも広がったら…そういう思いから場所を公共施設にしました。

～大きな苦勞と反省～

反省は大きなものが2つです。細かい反省は多々ありますが、ここでは触れません。2つだけ詳しく記載できたらと思います。

一つ目は、「他の団体と実施を行う難しさ」です。今回の実施では、ぬいぐるみと救急の意思疎通が十分に取れませんでした。まず、このような企画では、細かいところまで情報共有し、書面で内容を残しておくことが絶対に必要です。それから、企画の内容を話し合っていく前に「これはどういう母体・メンバーで行うのか」という線引きをきちんと決めておくことが大切だと痛感しました。

二つ目は、「宣伝の難しさ」です。今回は、機材やキットの数の関係で16組の親子を集めよう！と言うことを目標にしていました。しかし集まったのは6組!!宣伝をがんばった「つもり」でいましたが、全然不十分だと気付かされました。参考までに私たちが宣伝したやり方です。→

二つ目は、「宣伝の難しさ」です。今回は、機材やキットの数の関係で16組の親子を集めよう！と言うことを目標にしていました。しかし集まったのは6組!!宣伝をがんばった「つもり」でいましたが、全然不十分だと気付かされました。参考までに私たちが宣伝したやり方です。参考にして頂けると幸いです。

- 会場周辺のお宅の朝日新聞に折り込みチラシ 1000 枚
(日曜日に入れて頂きましたが土曜の方が良いかもしれないです)
- 福祉協議会の方が小学校に配布してくださいました。
(この効果が一番大きかったです!)
- 近くの児童館に貼ってもらった
- フェイスブック
- 友人、知人に紹介
- イオン実施でチラシを配布
- HP で通知

～感想～

初めての形の実施でしたが、実施の質はとても高く、当日参加して下さった皆様から「楽しかった」「ためになった」「またやってほしい」など多くの声をいただきました。こども

達も楽しかったと言ってくれたので、本当にやって良かったです。

人数が集まらなかったり、運営にトラブルがあったりはしましたが、これは今後への課題として生かしていきたいと思います。ありがとうございました。